

ただいま博士の学位を授与された21名の皆さんに心からお祝い申し上げます。

皆さんは学術研究に多大な努力を捧げ、研究者としての能力と見識を高め、貴重な研究成果を挙げられました。本日の学位取得はその証であります。皆さんのこれまでの努力に対して、私は惜しめない賛辞を送ります。また、これまで熱意をもって指導されてきた教員の方々、研究生生活を支えてこられたご家族、友人、関係者の皆さんにも、敬意を表します。

今回、博士の学位を授与された21名のうち19名が外国人留学生です。その国籍は、バングラデシュ、インドネシア、タイ、ネパール、ベトナム、マレーシア、中国、ガーナの8カ国です。皆さんの日本での慣れない生活には、気候条件、食事、文化など、人知れぬ困難や苦労があったことだと思います。それを克服する原動力となったのは皆さんの高い目的意識や自分の国を愛する気持ちだったのではないのでしょうか。

皆さんの中には、すでに社会人として活躍されている方もいれば、これから社会での活動が本格的に始まる方もいると思います。皆さんが学位論文としてまとめ上げた研究成果、それに関連して得た専門的な知識や情報、そして何よりもそのために辿ってきた道のりは、かけがえのない宝物です。さあ皆さん、今、新たな研究の世界へと船出しましょう。

愛媛大学大学院連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学および高知大学の農学研究科・農学専攻が連携し、優れた人材を育成することを目的として設置され、32年の歴史を重ねています。本研究科は、先見性と独創性のある研究を通して地域に役立つ人材を養成すること、世界各地から優秀な留学生を積極的に受入れること、将来を担う研究者を育成することを大きな使命とし、人類と自然環境とが調和する持続可能な社会の構築に貢献することをめざしてきました。

この30年間の修了生は、1,000人以上に上ります。修了生の活動が、ここから国境を越えて広がることが本研究科の願いで

す。私は、皆さんが互いに協働し、学術成果を共有するネットワークを築き、本研究科で学ぶ後輩たちの支えとなることを期待しています。

また、本連合農学研究科は、熱帯・亜熱帯農学留学生特別コースとアジア・アフリカ環太平洋農学留学生特別コースを設置していることに特徴があります。皆さんを含め 600 名以上の外国人留学生がこれまでに学位を授与されています。これはきわめて大きな実績です。皆さんの先輩たちはアジアを中心に世界に羽ばたき、それぞれの国において農学分野の研究者として、あるいは技術者として、また、行政や経済界の有能な人材として活躍しています。この実績はまことに輝かしいものであり、このことを大いに誇りに感じています。

皆さんの博士論文のテーマはいずれも、農業、林業、水産業などの第一次産業に関係していると思います。このような分野の研究は、どの国においても基盤を支えています。しかも今後、われわれの研究テーマは、第二次産業、第三次産業ともリンクしながら、新たな産業を創出する可能性へと発展してゆくでしょう。私は、皆さんがこれまで培った知識や技能を大いに活かして、将来、さまざまな分野で国際的に活躍されることを確信しています。

本日学位を取得された皆さんが、常に広い視野をもって国際社会で活躍されることを期待して、式辞といたします。

平成 29 年 9 月 22 日

愛媛大学大学院連合農学研究科長 大上 博基